

## “ 三人一緒”

M・S

Nが我が家に来てから、8ヶ月が過ぎました。昨年1月に施設で面会し、2回目で受託を決心しました。当初から動きが活発で、養育ができるのかとても心配でしたが、徐々に「パパ、ママ」と認識し、一緒に遊べるようになって、私達もNに会えることが楽しみになりました。担当保育士からは、「誰にでも慣れる子ではないので心配していましたが、相性が良かったのですネ」と言われました。

面会後に別れて、部屋に戻ったNを窓越しに見ると、お友達や保育士はテレビの前にいるのに、1人だけ寂しそうに指しゃぶりしている。その姿を見て胸が痛くなり「早く引き取ってあげたい」という思いを強くしました。

昨年5月に委託され、すぐに実家に帰省。外遊びとお昼寝以外は、私から離れず、1日の大半がしがみつきと抱っこの連続でした。自宅に戻ってから大泣き。「チャイルドシート」を嫌がりお風呂に入らない、かみつく、食事をあまり食べない（入所中も食が細い）等。児童相談所職員や先輩の里親さんのお力をかりて、Nが徐々に心を許して片言で「パパ、ママいっしょに…」と、言いだし、一緒にお風呂に入れるようになりました。

ある日突然、チャイルドシートに坐り、かみつきも痛くても耐えていたら、段々になくなり安心しました。食事当初から半年間は、1時間かけて補食していましたが、今では30分位で自ら食べ、野菜も大好きになりました。ひどかった指しゃぶりも、4ヶ月後には完全になくなりました。Nからのべったりした甘えを、心から受け入れた日々でした。「いっしょにいたかった」と、今少しずつ自分の気持が言えるようになり、嬉しい思いと、Nを信じて待つことの大切さを、教えてもらいました。

表情も明るくなり、良く声を出して笑います。絵本が大好きで、毎日読み聞かせをしています。寝る時は、私と手をつなぎ、子守り歌を歌って入眠する習慣です。

「Nちゃん大きくなったら野球やるの」と、夢も上手に語ってくれます。また、私の指の擦り傷をみて、「Nちゃんが判創膏貼ってあげる」と、優しい一面も見られます。3歳のお誕生日に、3人で一緒にケーキを作り。ハッピーバースディの歌を歌いました。「三人一緒」が口癖になりました。

「ママのこと、怒らないで、いい子なのに」とか「ママをやっちゃダメ」と必死に私を守ってくれるなど、些細なことかも知れませんが、思ってもいなかったNの一言一言に、“出逢えて本当に良かった”と感謝しています。そして、我が家の一員のNを、とても愛おしく「大切にしていなければ」と感じています。

これからも、肩の力をぬいてNの気持を大切に、一緒に成長して「明るい気持と、笑顔を忘れずに子育てができれば」と思っています。